

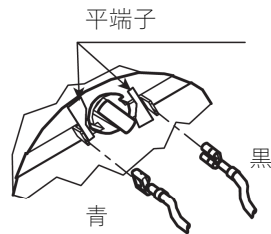
タコメータ 3 ランプ付取付説明書

<適用モデル>

MFS 40/50, MFS 75/90/115/140

<部品構成>

No.	部品名	個数
1	タコメータ 3 ランプ付	1
2	*バッククランプ	1
3	*マウンティングハードウェア	1



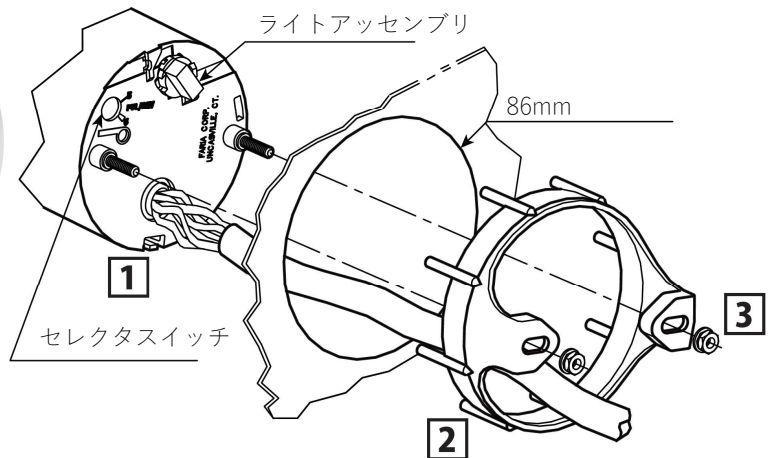
部品番号: 3UR-72647-3

文字板色: 黒



部品番号: 3WA-72647-3

文字板色: 白



<ランプ機能>

1. オイルランプは、油圧低下時（4 ストローク）、オイルタンク油量低下時（MD 25B2 JET）に作動します。
2. ウォータテンプランプは、エンジンがオーバーヒート時に作動します。
3. バッテリランプは、バッテリー電圧が低いとき、バッテリーの不具合、接続不良時に作動します。
4. エンジンに異常が有る場合に 3 つのランプが同時に作動します。

<安全のために>

本書には、特にご留意していただきたい取扱い事項を下記の表示で記載しています。これらは安全の為に重要ですので、必ず読んで遵守してください。

⚠ 注意

回避しないと軽傷または部品や製品の損傷につながる可能性がある事故を未然に防ぐための事項を示しております。

○ 備考

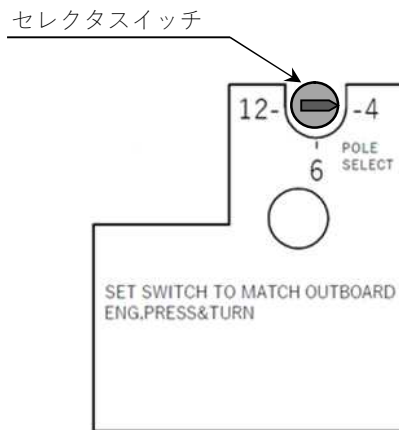
重要な情報をワンポイントアドバイス

<取付手順>

**注意**

取付けの際はバッテリーを外してください。
 バッククランプのナットは、手で強く締め付ける程度で十分です。
 締め付けトルク： 0.7 N-m(0.5 lb-ft, 0.07 kgf-m)
 締め過ぎによる部品の破損は保証の対象になりません。

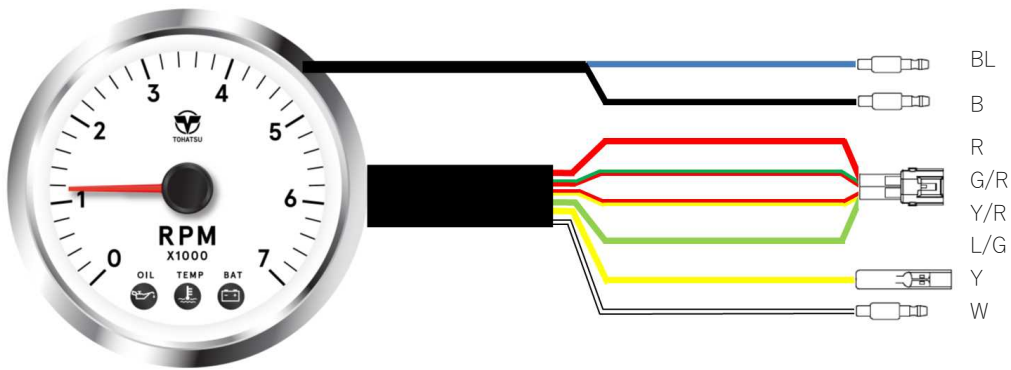
1. 取り付け位置: タコメータは電磁コンパスから450mm以上離して取付けてください。
 無線を使用の場合、選局中に電波の干渉(タコメータの誤作動)が発生する場合があります。
 これはタコメータにダメージを与え、通信中でない時の精度にも影響を与えます。
2. バックライトスイッチを使用する場合は、マリングレードの直径1mm以上の絶縁線を使用してください。
3. メータ背面にあるセレクトスイッチを適切なポール番号に合わせます。
 4P(MFS 40/50A(W), MFS 75/90/115A(W), MD 25B2 JET)



4. コンソールに直径86mmの穴を開け、バッククランプでタコメータを取付けます。
5. メータリードワイヤをタコメータに接続します。
6. バッテリーを再接続させます。

○ **備考**

電球を交換する場合は、ソケットアセンブリを反時計回りに、1/8回転まわすと取外すことができます。
 交換用電球の番号はGE No. 194です。



記号	色	接続先
BL	青	電源（ボートの照明回路）
B	黒	アース（ボートの照明回路）
R	赤	電源（船外機キーON時）
G/R	緑/赤	バッテリーランプ信号（船外機）
Y/R	黄/赤	テンプランプ信号（船外機）
LG	若草色	オイルランプ信号（船外機）
Y	黄	アース（船外機）
W	白	回転数信号（船外機）

不具合	点検	診断	対処
針が止まる	バックランプのナットが締めすぎているか確認	バックランプのナットを僅かに緩め、作動確認	メータが作動し、パネルにガタが無い場合はそのまま使用する
			針の止まりが解消されない場合、メータを交換する
メータの作動不良	メータに電源が供給されているか確認	メータへ電源を供給しているスイッチをオン・オフする。電源が供給されていれば、針がわずかに動く	配線が正しく接続されているか、電気がメータにきているか確認
			針が動く場合は、タコメータまたは、船外機のECUを交換する
メータの誤作動	配線、端子の接続を確認	配線、端子の接続・絶縁が正しくされているか確認	接続を修正
	メータの近くにある電装品による過度の電氣的ノイズが無い か確認 例) コンパス、ラジオなど	タコメータを単独でバッテリー、船外機の回転信号線につなげ誤作動しなくなるか確認	ノイズ発生源の電装品の取付け位置を変更、取付説明書を参照
	高い回転数を示す場合は、ポール番号の選択が間違っている可能性が有る	タコメータの裏のセレクトスイッチを確認する。	セレクトスイッチを下記に合わせる 4P (MFS 40/50A, MFS 75/90/115A, MD 25B2 JET)